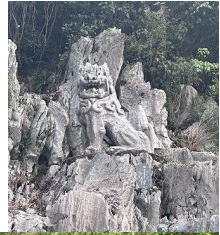




★本部中「同窓の森」清掃作業完了★

ハイサイ探偵団の活躍により、学校裏「ワリ川ー同窓の森」の清掃作業が完了しました。約1週間の作業となりましたが、協力いただいた探偵団関係者の懸命な働きで、同窓の森を象徴する巨大シーサーが見られるようになりました。本校を囲む自然の豊かさやこれまで築き上げてきた本校の伝統文化について改めて気づかされる機会となりました。ハイサイ探偵団関係者及び協力してくれた職員や生徒の皆さんに感謝申し上げます！



【生徒の感想】

・ハイサイ探偵団が本当に来てくれるとは思ってなかったから来てくれて嬉しいのが一番でした。ワリ川がきれいになって、シーサーがきれいに見えるようになったので感謝の気持ちでいっぱいです。川もヘドロなどを取ってもらってきれいになり嬉しかったです。(3年:松川 颯空)

・ハイサイ探偵団と一緒に落ち葉拾いをしてきれいになったのが嬉しかったです。こんな経験はあまりできないので貴重な経験ができてよかったです。(3年:具志堅希愛)



★美術特別授業★

東京芸術大学美術学部絵画科の教育研究助手：真鍋由伽子さんが来校し、本校1年生を対象としたデッサンの特別授業を行いました。生徒たちは真鍋さんのアドバイスを聞きながら真剣に取り組んでいました。特別授業実施に向けて協力していただいたホルトノキホテル代表他、関係者の皆様に感謝です。



【生徒のふりかえり】

・デッサンでガラスの中に何もないと、ガラス感がなかったけど、映りこみを探すとガラス感が少し出た。みる方向によってみえ方が違うからおもしろかったです。アドバイスを聞いてやると立体感が出たりもしました。(1-1 金城芽衣)

・今日の授業で、ふたの大きさや、敷いた画用紙の角度などのアドバイス、ありがとうございます。ピンのガラスの透明感は大成功でした。でもピンのふたの金属感を出すことが難しかったです。次は、金属を中心に頑張りたいです。(1-1 城間一慶)

・今日の授業で、デッサンが苦手な金属やガラス物で、うまくできるか不安だったけど、真鍋先生のおかげで、いつもより倍楽しくデッサンをすることができました。授業以外でもデッサンを楽しみたいと思いました。画用紙の描き方や金属の質感を意識して描くことができました。(1-1 古堅奈桜)



・真鍋由伽子さんの特別授業で、細かいところまで教えてくれて嬉しかったし、教えてもらったからうまく描けて嬉しかったです。中央に大きく描くやり方を丁寧に教えてもらえてよかったし、コントラストは、一列一列ずつ丁寧に描くことがコツなんだとわかりました。(1-2 上間琉生)

・ガラスのふたは色が変わりやすいから、黒いところと光る場所を先に分けて描いたらいいことがわかりました。また、ガラスが丸くへこんでいるところと透けて見える黒い画用紙のさかい目は、消しゴムを使うと上手にできたのでよかったです。えんぴつのか加減が難しかったけどうまくできました。(1-2 上間日菜)

・集中して右脳だけ動かすことを意識した。由伽子さんに質問をしたり、ポイントを教えてもらいました。そのおかげでいい作品ができそうです。意識したことは、光源設定です。光の当たり所を意識して暗くしたり、明るくすることができました。(1-2 崎浜秀虎)

・デッサンでは、形が取れて、少しコントラストを表現することができたのでよかったです。光とかげを描くのがあまり上手にできていないので、次は修整して工夫して描きたいです。(1-3 伊野波怜旺)

・最初は大体で描くといふことを由香子さんが教えてくれたので、線が描きやすかったです。教え方がわかりやすかったから、けっこうスラスラと描けました。ふたの影と黒い紙の色が似ていたのでちゃんと全体を見ることは大事なんだと思いました。次はふたをぬりたいです。(1-3 具志堅美緒)

・フリーハンドで円を描くときは、薄く描いて紙を回していろいろな角度から見る。透き通るところもぬる。ガラスに映っている黒は、色が薄いところもあれば、濃いところもある。真鍋先生細かい指導ありがとうございました。(1-3 武方さつき)